

# 財 政 報 告 書



平成28年6月1日

秋 田 県 横 手 市

## 1 収入及び支出の概況

### 平成27年度予算の執行状況（普通会計・3月31日現在）

予算額 619億5,080万円

#### 歳入

	収 入 済 額	収 入 率
合計	486億2,961万円	78.5%
市税	79億6,596万円	98.4%
地方消費税交付金	18億8,311万円	100.0%
地方交付税	223億5,624万円	100.0%
分担金・負担金	4億68万円	83.8%
使用料・手数料	6億26万円	98.9%
国庫支出金	67億5,053万円	77.2%
県支出金	27億1,764万円	66.4%
諸収入	19億7,300万円	85.8%
財産収入	2億9,085万円	103.9%
繰越金	19億3,056万円	100.3%
市債	9億2,810万円	9.0%
その他	8億3,268万円	90.7%

その他…交付金など

#### 歳出

	支 出 済 額	執 行 率
合計	477億3,213万円	77.0%
総務費	57億3,819万円	85.7%
民生費	124億7,672万円	77.5%
衛生費	67億9,668万円	61.3%
労働費	1億5,822万円	93.9%
農林水産業費	29億3,515万円	87.8%
商工費	18億2,801万円	80.1%
土木費	50億7,468万円	79.7%
教育費	43億7,589万円	91.6%
公債費	64億4,479万円	99.9%
その他	19億380万円	40.7%

その他…議会費、消費費など

普通会計とは、個々の地方公共団体ごとに各会計の範囲が異なることから、自治体間の財政比較ができるようにするため、地方財政統計上で共通して用いられる会計区分で、横手市では一般会計・土地区画整理事業特別会計・障害者支援施設特別会計の3つの会計を合わせたものを普通会計としています。

## 2. 市税収入および負担状況（3月31日現在）

市税は、市民の皆さんや企業などから納めていただいた税金であり、市の事業を行ううえで欠くことのできない貴重な財源となっています。

なお、入湯税は観光施設や消防施設の整備、観光振興事業などにあてる財源となっています。

税制 \ 区別	収入済額	構成比
市民税	31億6,936万円	39.8%
固定資産税	37億9,524万円	47.6%
市たばこ税	6億6,636万円	8.4%
軽自動車税	2億4,925万円	3.1%
入湯税	6,979万円	0.9%
その他	1,596万円	0.2%
計	79億6,596万円	100.0%

市民1人あたり (3/31住基人口 93,816人)

税制 \ 区別	収入済額	構成比
市民税	33,783円	39.8%
固定資産税	40,454円	47.6%
市たばこ税	7,103円	8.4%
軽自動車税	2,657円	3.1%
入湯税	744円	0.9%
その他	170円	0.2%
計	84,911円	100.0%

その他…都市計画税(滞納分)など

### 3 公営事業の執行状況

企業会計とは、市などが行う公営企業会計のことで、水道、病院、ガス、電気など地方公営企業法の適用を受ける公営企業のうち、横手市では病院事業（横手病院と大森病院）、水道事業と下水道事業が対象となります。

#### 病院事業

<貸借対照表> (平成28年3月31日現在)

資産の部		負債・資本の部	
固定資産	65億6,806万円	固定負債	59億4,606万円
流動資産	47億 360万円	流動負債	12億4,317万円
		繰延収益	5,196万円
		資本金	41億9,249万円
		剰余金	△1億6,202万円
合計	112億7,166万円	合計	112億7,166万円

<損益計算書> (平成27年4月1日から平成28年3月31日)

費用		収益	
医療費用	80億1,002万円	医療収益	73億7,070万円
医療外費用	1億1,073万円	医療外収益	5億6,564万円
特別損失	73万円	特別利益	18万円
		当期純損失	1億8,496万円
合計	81億2,148万円	合計	81億2,148万円

#### 水道事業

<貸借対照表> (平成28年3月31日現在)

資産の部		負債・資本の部	
固定資産	236億8,899万円	固定負債	126億6,706万円
流動資産	25億1,610万円	流動負債	10億3,866万円
		繰延収益	47億9,738万円
		資本金	69億7,683万円
		剰余金	7億2,516万円
合計	262億 509万円	合計	262億 509万円

<損益計算書> (平成27年4月1日から28年3月31日)

費用		収益	
営業費用	16億6,576万円	営業収益	16億9,876万円
営業外費用	3億1,736万円	営業外収益	2億7,927万円
特別損失	2万円		
当期純利益		当期純損失	511万円
合計	19億8,314万円	合計	19億8,314万円

#### 下水道事業

<貸借対照表> (平成28年3月31日現在)

資産の部		負債・資本の部	
固定資産	302億5,484万円	固定負債	157億6,847万円
流動資産	7億 324万円	流動負債	15億3,070万円
		繰延収益	97億1,309万円
		資本金	37億8,603万円
		剰余金	1億5,979万円
合計	309億5,808万円	合計	309億5,808万円

<損益計算書> (平成27年4月1日から28年3月31日)

費用		収益	
営業費用	13億6,359万円	営業収益	6億4,895万円
営業外費用	3億6,087万円	営業外収益	11億 370万円
特別損失	2万円		
当期純利益	2,817万円		
合計	17億5,265万円	合計	17億5,265万円

#### 4 財産、公債及び一時借入金の現在高

家庭での自動車ローンや住宅ローンなどのように、市でも事業に必要な資金が不足した場合には、借り入れをして不足分をまかなうことがあります。

このうち、施設や道路などの建設、災害復旧などにあてられ、年度をこえて返済するものが地方債です。

一会計年度内で、現金の不足分を補うために借り入れるお金が一時借入金です。

##### 地方債現在高（普通会計分：平成28年3月31日現在）

市が行う大規模な建設事業などの資金として借り入れるもので、利子とともに年度をこえて返済しています。

地方債の名称	金額
総務債	51億9,510万円
民生債	14億2,218万円
衛生債	40億408万円
農林水産業債	40億1,286万円
土木債	106億5,820万円
公営住宅債	14億3,092万円
消防債	17億2,824万円
教育債	106億1,465万円
臨時財政対策債※	200億634万円
その他	17億3,092万円
合計	608億349万円

その他…商工債・災害復旧債など

※臨時財政対策債とは、国から地方自治体に交付する地方交付税の財源が不足した場合に、その穴埋めとして地方自治体に地方債を発行させる制度です。ただし、返済に要する費用は後年度の地方交付税で措置されます。

市民1人あたり 648,114円 (3/31住基人口 93,816人)

##### 一時借入金現在高

年度内に不足した現金を補うための借入金です。

借入限度額	80億円
借入現在高	0円

##### 市有財産の現在高（平成28年3月31日現在）

土地	67,540,263.34㎡
建物	615,891.50㎡

## 5 特別会計の執行状況

会計別	予 算 額	
	収 入 済 額	収入率
	支 出 済 額	執行率
国民健康保険特別会計	133億2,708万円	
	117億6,682万円	88.3%
	119億1,126万円	89.4%
介護保険特別会計	114億3,752万円	
	95億5,430万円	83.5%
	103億3,165万円	90.3%
特別養護老人ホーム特別会計	7億4,375万円	
	4億3,849万円	59.0%
	7億56万円	94.2%
市営温泉施設特別会計	7億7,025万円	
	5億6,990万円	74.0%
	6億6,034万円	85.7%
集落排水事業特別会計	4億2,773万円	
	3億6,873万円	86.2%
	3億9,036万円	91.3%
浄化槽市町村整備推進事業特別会計	5,211万円	
	7,809万円	149.8%
	2,485万円	47.7%
介護老人保健施設特別会計	5億3,362万円	
	4億6,426万円	87.0%
	4億9,234万円	92.3%
介護サービス事業特別会計	2,380万円	
	5,439万円	228.5%
	2,175万円	91.4%
指定通所介護事業特別会計	8,870万円	
	9,271万円	104.5%
	7,805万円	88.0%
後期高齢者医療特別会計	9億2,494万円	
	9億998万円	98.4%
	9億581万円	97.9%
財産区特別会計	2,313万円	
	2,517万円	108.8%
	1,472万円	63.7%

特別会計は、特定の歳入歳出を普通会計の歳入歳出と区別して処理するための会計です。